

**日本油化学会創立 70 周年記念事業 第 2 回世界オレオサイエンス会議
“WCOS 2022” (2022 年 8 月 23 日~9 月 3 日) の刺激的な講演
–ISF Kaufmann Memorial Lecture と**

2021 年度受賞者 Dr. Eric A. Decker 氏の紹介–

日本油化学会創立 70 周年記念事業 副実行員会委員長 細川 雅史



日本油化学会創立 70 周年を記念して、第 2 回世界オレオサイエンス会議“WCOS 2022”を本年 8 月 23 日~9 月 3 日に開催します。新型コロナウイルスの感染拡大が続き学術研究や企業活動が制限を受ける中、オレオサイエンスの進歩を止めずに国際会議を開催する意義は大変大きいと考えています。

本会議は、世界で活躍中の科学者・技術者に登壇頂き、完成度より斬新性を重視した特別講演を企画し近未来の技術予測ができる「トップカンファレンス」を目指します。そのために The International Society for Fat Research (ISF) と The American Oil Chemist's Society (AOCS) と共同で講演企画を立て、Kaufmann Memorial Lecture, ISF Plenary Lecture, JOCS-AOCS Joint Meeting を実現しました。

ISF は、1954 年に設立された油脂科学分野に関する国際的な学術連合組織で日本油化学会を含めた世界 23 の学術団体がそのメンバーです。そして国際的に有名な科学者または技術者がプレジデントを務めて世界各国で ISF Congress (1956-2005)、Kaufmann Memorial Lecture と ISF Plenary Lecture で構成する ISF Lectureship Series(2007-現在)などの国際会議を開催しています。今回の WCOS2022 では、2015-16 年度第 31 代日本油化学会会長の宮下和夫教授(当時北海道大学、現帯広畜産大学)が ISF プレジデントを務めて日本油化学会と共同で Kaufmann Memorial Lecture と ISF Plenary Lecture を企画開催します。

Kaufmann Memorial Lecture Award は ISF の学術活動の中で、特に注目されるものです。本賞は、油脂科学と研究コミュニティの国際発展に貢献した研究者を称える目的で、ISF の創設者である Hans P. Kaufmann 氏の名をとり創設されました。特定の国や学会を母体とする学会賞とは異なり、ISF メンバーである世界 23 の学術団体から候補者が推薦されて受賞者を選考するため、油脂科学分野において最も名誉のある国際賞の一つといえます。これまでの Kaufmann Memorial Lecture Award 受賞者には、Dr. F. D. Gunstone 氏や Dr. R. G. Ackman 氏など、今日の油脂科学の礎を築いた偉大な先人たちがおり、その伝統を物語っています。私自身、学生時代に(30 年以上前で

すが)これらの先生方が執筆された実験書や論文を読み、国際学会で憧れをもってお見かけしたことを記憶しています。

日本人ではこれまで 4 名が受賞されています。1984 年の金田尚志先生(東北大学)、2003 年の村田紀夫先生(基礎生物学研究所)、2007 年の佐藤清隆先生(広島大学)、そして 2018 年の宮下和夫先生です。特に、日本油化学会でご活躍された先生方が受賞されてきたことは、本学会にとっても大変名誉なことです。

2021 年の Kaufmann Memorial Lecture Award は、Dr. Eric A. Decker 氏(University of Massachusetts Amherst, Food Science Department, USA)が受賞され、今回の WCOS2022 で受賞講演が決まりました。同氏は、食品油脂、なかでも多価不飽和脂質の酸化メカニズムの解明と酸化制御に関して、非常に多くの研究成果を報告されています。特に、食品などの分散、多相および多成分系における複雑な酸化メカニズムを体系的な研究アプローチにより解明してきた成果は非常にインパクトのあるものです。また、それらの知見をもとに、界面活性作用をもつ化合物を用いた酸化反応制御やヨーグルトをはじめとした様々な油脂分散食品への応用、食品の性状に合わせた抗酸化システムの開発など、意義深い成果を多数あげられています。このような食品油脂の酸化に関する総合的に研究展開は、機能性油脂の産業応用やそのための技術開発に大きく貢献するものとして高く評価されています。

そして先生のお人柄は非常にフレンドリーで大変親しみやすい方です。これまでに日本人を含む多くの学生や企業研究者の留学をグローバルに受け入れて熱心に研究指導されていることも、同氏の魅力ではないでしょうか。是非皆さん、先生の Kaufmann Memorial Lecture をお聞きください。特に、若手研究者の皆さん、先生の講演を聴講すると、先生が長年にわたり積み上げてこられた研究成果に加えて、独創的な研究アプローチの素晴らしさを実感して、皆さんの研究活動のモチベーションが高まると思います。この機会が、皆様の将来につながる国際交流の機会となることを願ってご紹介させていただきました。

(北海道大学教授)